体験活動参加型（小学校）

学 校 名 等	瑞穂市立南小学校
実 施 日 時	平成２６年８月３日（日）　１０：３０～１２：００
会　　場	美来の森ガラス工房
参 加 人 数	約４０名(親子)
学習課題（分野）	親子でフュージング体験
運営者の願い	・ 夏休みを活用し、地域の施設を利用し、親子でフュージング（ガラス細工）を体験し、触れ合いを深める。 ・ リサイクルの視点を考え、資源の有効活用について考える機会とする。

学　習　の　内　容

＜挨拶＞

家庭教育学級運営委員会で、担当の講座を分担されている。この日の担当委員が「挨拶」された。

＜作り方の説明＞

・つくる物の説明（皿とフォトスタンド）
・ガラスの板（窓ガラスの切れ端）に、色つきガラス（色つき瓶の破片ガラス）をカットして、自分の考えたデザインに従い、水のりで仮止めする。
・後日、電気炉（約千度）で焼いて完成。

※　ガラスの割り方等、安全上の注意も念入りに行われた。

＜家族ごとに制作＞

夏休みの日曜日ということもあり、お父さんの参加や兄弟姉妹が揃って参加する家族が目立った。また、上の子と参加したことがあるから、今年は下の子と参加したという親子もあり、何年も続いている取組として開催されていた。

親子で触れ合いながら、夏休みの貴重な家族の思い出ができる。

＜　感　想　（一部）　＞

・「夏」をイメージして「フォトフレーム」を作りました。瑞穂市に住んでいながら、このような施設があるとは知りませんでした。リサイクル品を利用し、親子でがんばる体験ができてよかったです。（お母さん）
・今日は、主にガラスを切るところを手伝いました。いつも子どもと一緒に活動することが少ないので、貴重な体験でした。（お父さん）
・２年前にお兄ちゃんと参加したことを思い出し、今回は弟と参加しました。家でもよく一緒に活動しますが、今日はあまり手を出しすぎないように、子どもの意思を尊重してつくりました。（お母さん）
・以前、つかまえたことのある「カブトムシ」をお皿の模様にしようと考え、色や形を思い出して貼り付けていきました。（小３児童）

美来の森
ガラス工房
（フュージング体験教室）

建築廃材等の板ｶﾞﾗｽを利用して、お皿や箸置などのｶﾞﾗｽ工芸品を作る。

場所：瑞穂市十九条
美来の森研修室
対象者：小学生以上
電話：
058-326-7388
（市外の方も受付）

＜４つの良さ＞

①夏休みの日曜日の開催で参加しやすい。
②親子の共通体験（活動）による触れ合いができる。
③地域（地元）施設を活用し、地域理解に結びついている。
④資源の有効活用(リサイクル)の視点を体験的に理解することができる。